

令和4年度 第2回 運営推進会議報告書

施設名：NPO 法人たすけあい平田 デイサービスセンターさわやか
種類：地域密着型通所介護
日時：令和5年3月22日(水) 13:30~14:30
場所：NPO 法人たすけあい平田 2階

〈参加者〉

出雲市役所高齢者福祉課 1名
国富地区コミュニティーセンター 1名
国富地区社会福祉協議会 1名
国富地区民生児童委員 1名
家族代表 1名
利用者代表 1名
デイサービスセンターさわやか 理事長 職員 3名
計 9名

1. 利用者状況

- ◇一日平均利用者数：15名（定員18名）
- ◇新規利用者：令和4年10月～令和5年3月 11名（男性2名 女性9名）
- ◇退所者：2名（施設入所等）
- ◇最高年齢：女性101歳
最少年齢：女性63歳
- ◇地域別登録人数（順不同）
平田：14名 灘分：8名 国富：3名 久多美：3名 桧山：2名
西田：3名 北浜：1名 東：2名 佐香：3名 伊野：0名
鰯淵：0名 斐川：1名 合計40名

◇介護度別登録人数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	2	3	0	1	0	6
女性	2	1	12	11	6	2	0	34
計	2	1	14	14	6	3	0	40

(単位：名)

2. 職員研修（内部研修、外部研修）

- ・職員会議、ケア会議：随時
- ・避難訓練について(役割分担、利用者への対応など)
 - 火災避難訓練：12月7日(参加者：職員5名、利用者12名)
 - 垂直避難訓練：3月6日(参加者：職員6名)
- ・危機管理について：随時（転倒、誤嚥、熱中症対策、感染症対策など）
- ・BPC 策定セミナー：3月14日
- ・高齢者虐待防止研修：3月16日
- ・出雲市福祉協議会評議委員会：3月24日

3. 新型コロナウイルス感染症についての対策

新型コロナウイルス感染症は現在比較的落ち着いてきていますが、継続して健康観察、換気、手指・テーブル等の消毒、マスクの着用を徹底して行っています。デイサービス利用当日の朝の検温を家族に依頼し、独居、家族不在の場合は、非接触式の体温計を職員が持参し検温しています。37.5℃以上の場合は、利用を中止するようにし、家族、ケアマネにも伝えていきます。

4. 活動報告

〈10月〉

お好み焼き調理、たわし作り、生け花、写生

〈11月〉

文化祭展示作品作成、干し柿作り、文化祭見学

〈12月〉

避難訓練、干し柿試食、干支の壁飾り作り、クリスマス会、忘年会

〈1月〉

初釜、ホッケーゲーム、バランスゲーム、新聞ゲーム、雪兎の壁掛け作り、松ぼっくりウォールアート作り

〈2月〉

バランス積みゲーム、紙コップリレー、脳トレパズル

〈3月〉

垂直避難訓練、雛飾り作り、ぼた餅作り

〈その他の日々の活動〉

カレンダー作成、貼り絵、生け花、裁縫、脳トレプリント、カラオケ、体操、野菜や花のスケッチ、ウエス作り等

〈今後の予定〉

4月 花見ドライブ、調理レクリエーション

5月 春の運動会、かしわ餅作り

6月 カラオケ大会

7月 七夕会

8月 暑中見舞い書き、納涼祭り

9月 写生大会

※イベント・行事について、近隣の小学生等にも参加していただけるように、声掛けをしていきたいと考えています。

5. 事故、ヒヤリ・ハットについて

安全・安心に過ごしていただく為に、ヒヤリ・ハットには細心の注意を払い、些細なことでも記録に残し、随時行っているケア会議でその対処について話し合い、改善に努めています。

6. 苦情、要望の対応について

苦情・要望について、相手の気持ちに寄り添って、内容を丁寧に傾聴し、対応しています。

7. 質疑応答

〈国富地社会福祉協議会会長様より〉

Q: 垂直避難についての報告があったが、車椅子を使用している利用者は一日何人くらい通所しているのか

A: 一日平均2名程度。送迎時のみ使用しておられる利用者の方もおられる。

Q: 外へ避難することができないほどの浸水がある場合は、デイサービスは休業されてはどうか。避難よりも休業の判断を早めにされた方が良いように思う。

A: 休業の判断は自治体からの情報等を細やかに収集し、迅速に行っていく。自然災害はいつどこでどのように起こるかはわからないので、避難訓練を定期的実施し、非常時に備える。

自分の母親がデイサービスに通っていた頃は、レクリエーションのゲームで勝って帰ってくると、非常に機嫌が良かった。反対に負けて帰ってくるとすごく機嫌が悪かった。資料の写真の利用者さんはとても楽しそうで、さぞかしここで楽しんで帰っておられることと思う。

〈国富地区民生委員児童委員様より〉

A: 何年か前の夏の豪雨の際は営業されたのか。隣の地区のデイサービスは休業していた。

Q: 情報を収集しつつ営業した。時短利用や家族、ケアマネへの連絡がすぐできるよう準備していた。

A: 自分の経験からも、男性の方はあまりデイサービスに来たがらない印象があるが、資料に写っている男性利用者の方は、どなたもニコニコしておられる

Q: 男性の利用者は一日平均2名ほど。人数は少ないが、男女の隔たりなく会話されたり、レクリエーション等にも参加されたりしている。

〈国富地区コミュニティーセンター長様より〉

Q: 定員は18名とあるが、利用日の希望が重なった場合はどうしているのか

A: ケアマネと相談しながら調整している。現在、空きを待ってもらっている利用者の方もおられる。

〈出雲市役所担当者様より〉

Q: 初めて地域密着型通所介護の運営推進会議に出席した。自分が思っていたより、レクリエーションの種類が豊富で、資料のスライドを拝見しても、あまり被っている印象もない。レクリエーションはどうやって考えているのか

A: 職員間で情報交換したり、デイサービスについての雑誌を購読したりしている。人気のレクリエーションは何回も実施することもある。その日の利用者様の顔触れや、車椅子の利用者の方も参加しやすいよう、日々工夫している。

市としても高齢者の社会参加は大事なことだと考えている。その一端を担っているデイサービス事業は必要不可欠で、今後も頑張って運営していただきたい。発表にもあったように、豊富な活動をされていて感心した。

8.その他

次回開催予定 令和5年9月